

2025年3月期第2四半期 決算説明資料

株式会社あいちフィナンシャルグループ
2024年11月12日



連結業績・配当	P2
2025年3月期第2四半期決算概要	P3
コア業務純益	P4
預金の状況	P5
貸出金の状況	P6
貸出金利息の状況	P7
ソリューション・預かり資産関連手数料の状況	P8
有価証券の状況	P9
経費の状況	P10
与信コストの状況	P11
与信管理の状況	P12
自己資本比率の状況	P13
業績予想	P14

連結業績・配当

- 経常利益は前年同期比 + 23億円の99億円。
- 親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比 + 16億円の71億円。

あいちFG連結業績

(単位：億円)	23/上期	24/上期	前年 同期比	24/上期 (上方修正前)		
				計画	計画比	達成率
経常収益	440	474	33	—	—	—
経常利益	76	99	23	40	+ 59	249.9%
親会社株主に帰属 する中間純利益	54	71	16	25	+46	285.4%

配当の状況

- ◆ 2024年3月期
第2四半期 50円 期末 50円 合計 100円
(連結配当性向59.0%)
- ◆ 2025年3月期
第2四半期 50円 期末 50円 (予想) 合計 100円

株主還元方針（配当政策）

収益基盤の強化に向けた内部留保を確保しつつ株主に対する還元を通して資本効率の向上を図るため、**1株につき100円**の年間配当を下限とし、自己株式取得についても柔軟に実施していくことを基本方針とします。

具体的には、配当金と自己株式取得合計の**総還元性向30%**を目処とします。

あいちFG連結損益

(単位：億円)		23/上期	24/上期	前年 同期比
1	連結粗利益	284	284	0
2	資金利益	265	259	▲5
3	役務取引等利益	55	60	4
4	その他業務利益	▲37	▲35	1
5	営業経費	214	220	5
6	貸倒引当償却費用	13	▲4	▲17
7	うち一般貸倒引当金繰入額	0	▲6	▲6
8	うち個別貸倒引当金繰入額	10	1	▲9
9	株式等関係損益	31	36	5
10	経常利益	76	99	23
11	特別損益	▲0	▲0	0
14	税金等調整前当期純利益	76	99	23
15	法人税等合計	20	28	8
16	中間純利益	55	71	15
17	親会社株主に帰属する中間純利益	54	71	16

2025年3月期第2四半期決算概要

- 2行合算の貸出金利息および役務取引等利益は着実に伸長。統合関連費用を合計29億円計上したものの、与信関係費用の減少や株式売却益の増加等もあり経常利益および中間純利益は大幅増益。

(単位：億円)		2行合算		愛知銀行単体		中京銀行単体	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比
1	業務粗利益	274	11	179	7	95	3
2	コア業務粗利益	306	6	208	9	97	▲3
3	資金利益	256	▲0	176	4	79	▲4
4	役務取引等利益	54	5	36	4	17	1
5	その他業務利益	▲36	5	▲34	▲1	▲2	7
6	経費	218	9	140	7	77	1
7	人件費	100	0	67	2	33	▲1
8	物件費	100	9	63	5	36	3
9	うち統合関連費用	15	4	10	4	4	0
10	実質業務純益	56	1	38	▲0	17	2
11	コア業務純益	88	▲2	67	2	20	▲5
12	コア業務純益(除く投信解約益)	86	1	67	3	18	▲2
13	一般貸倒引当金繰入額	－	▲0	－	▲2	1	3
14	業務純益	56	2	38	2	16	▲1
15	臨時損益	40	33	46	34	▲4	0
16	うち株式等損益	36	6	35	11	1	▲4
17	うち不良債権処理額	1	▲10	－	▲5	4	▲1
18	うち統合関連費用	13	3	6	2	6	1
19	経常利益	96	35	84	36	11	▲1
20	特別損益	▲0	▲0	▲0	0	▲0	▲0
21	中間純利益	69	24	60	25	9	▲1

コア業務純益

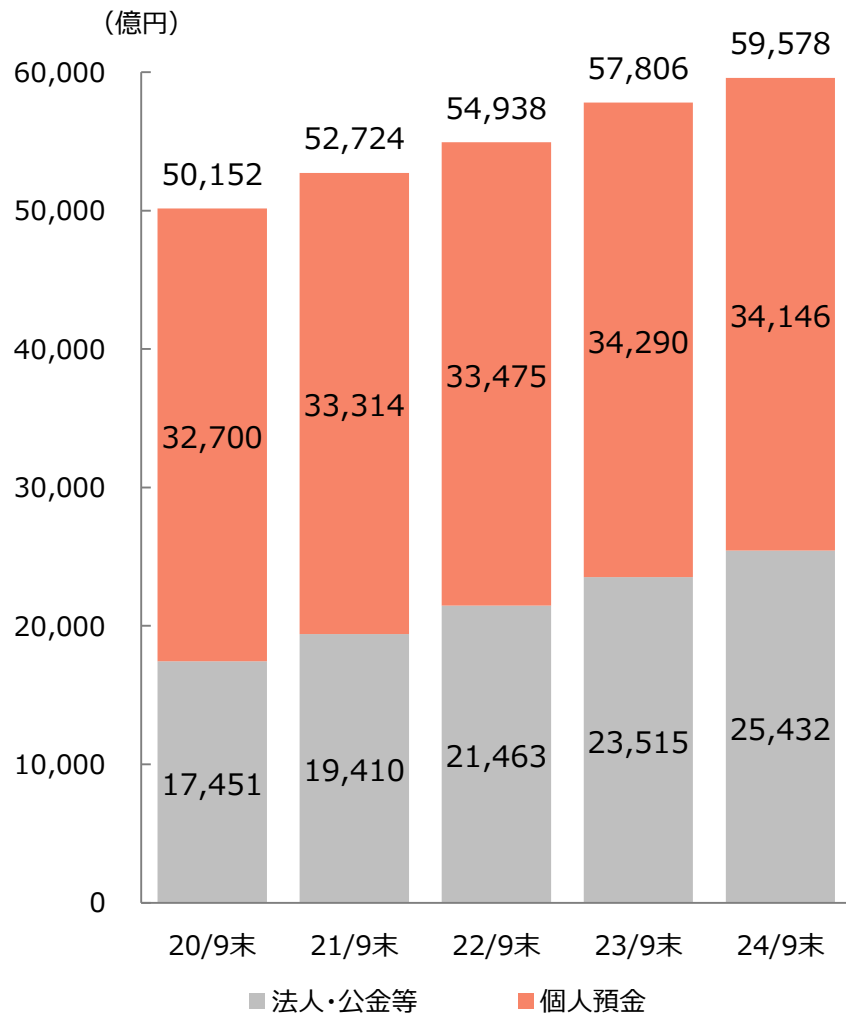
- 2行合算の貸出金利息、役務取引等利益は順調に増加。
- 物件費にて統合関連費用を15億円計上したものの、統合関連費用を除いたコア業務純益は前年同期比1億円増加の103億円。

(単位：億円)		2行合算		愛知銀行単体		中京銀行単体	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比
1	業務粗利益	274	11	179	7	95	3
2	コア業務粗利益	306	6	208	9	97	▲3
3	資金利益	256	▲0	176	4	79	▲4
4	うち貸出金利息	187	8	121	5	66	2
5	うち有価証券利息配当金	88	▲3	66	3	21	▲7
6	うち預金利息	16	9	11	6	5	3
7	役務取引等利益	54	5	36	4	17	1
8	その他業務利益	▲36	5	▲34	▲1	▲2	7
9	うち債券5勘定戻	▲31	4	▲29	▲2	▲2	7
10	経費	218	9	140	7	77	1
11	人件費	100	0	67	2	33	▲1
12	物件費	100	9	63	5	36	3
13	うち統合関連費用	15	4	10	4	4	0
14	実質業務純益	56	1	38	▲0	17	2
15	コア業務純益	88	▲2	67	2	20	▲5
16	統合関連費用控除後のコア業務純益	103	1	78	6	24	▲4

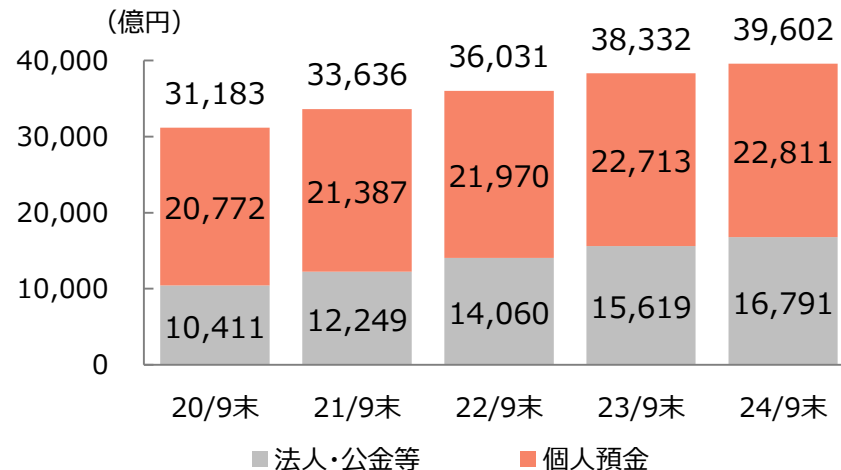
預金の状況

- 2行合算の預金残高（譲渡性預金除く）はメイン化を進める中で法人預金を主体に前年同期比1,772億円増加。

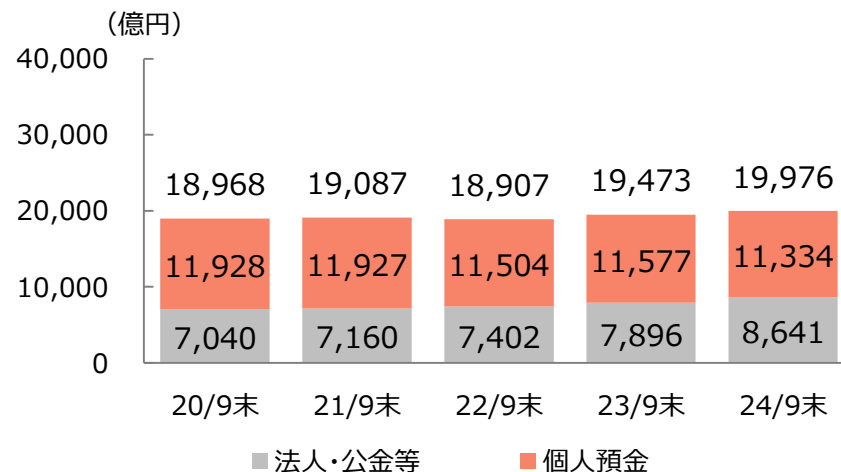
2行合算



愛知銀行



中京銀行

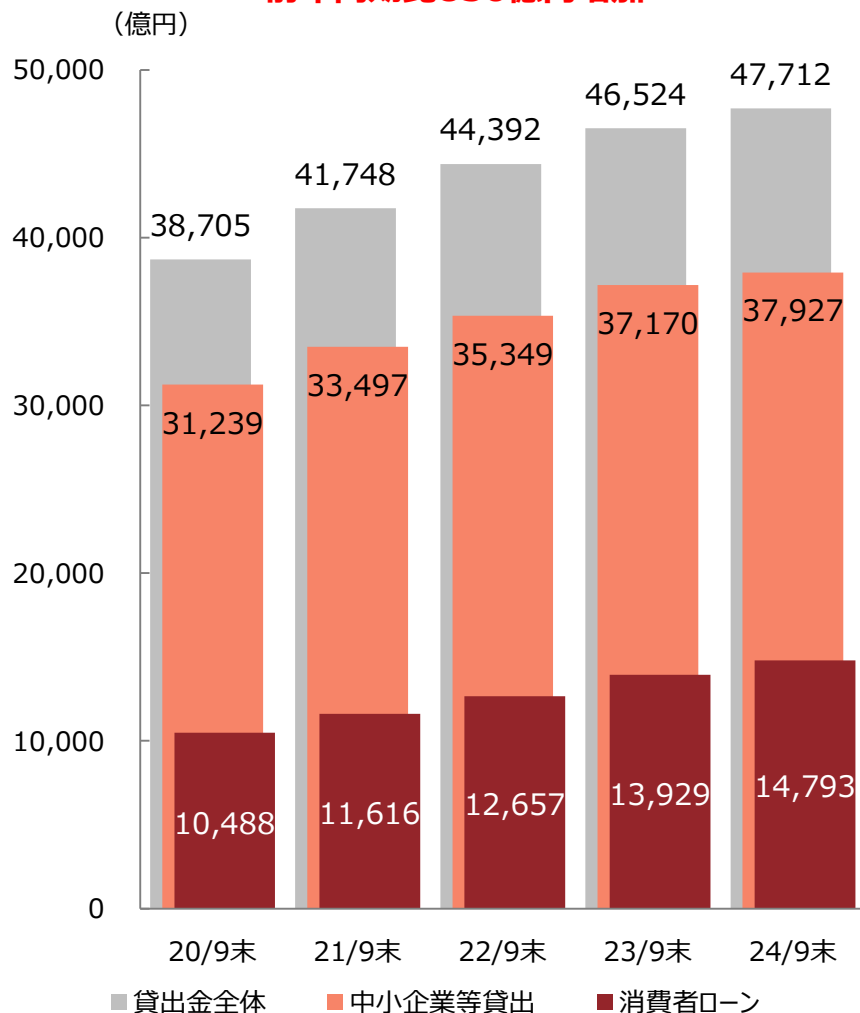


貸出金の状況

- 中小企業貸出と住宅ローンを中心に2行合算の貸出金残高は前年同期比1,187億円増加。
- 2行合算の預貸金合計残高は10兆7,291億円となり、経営統合から2年間で7,959億円増加。

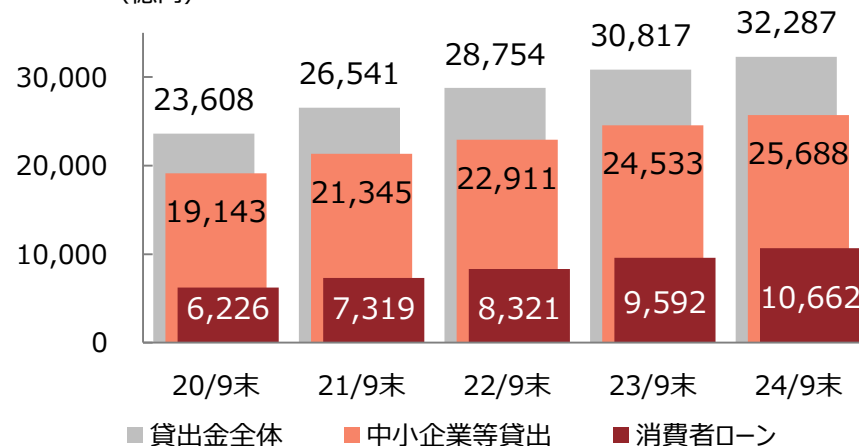
2行合算

2行合算で住宅ローンは
前年同期比830億円増加



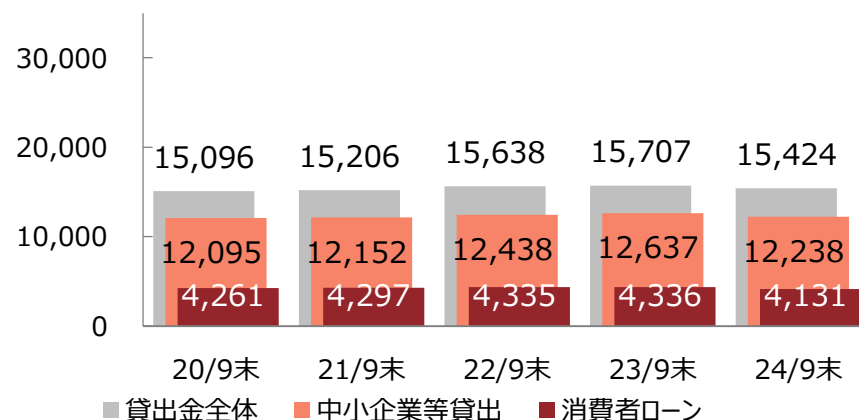
愛知銀行

(億円)



中京銀行

(億円)



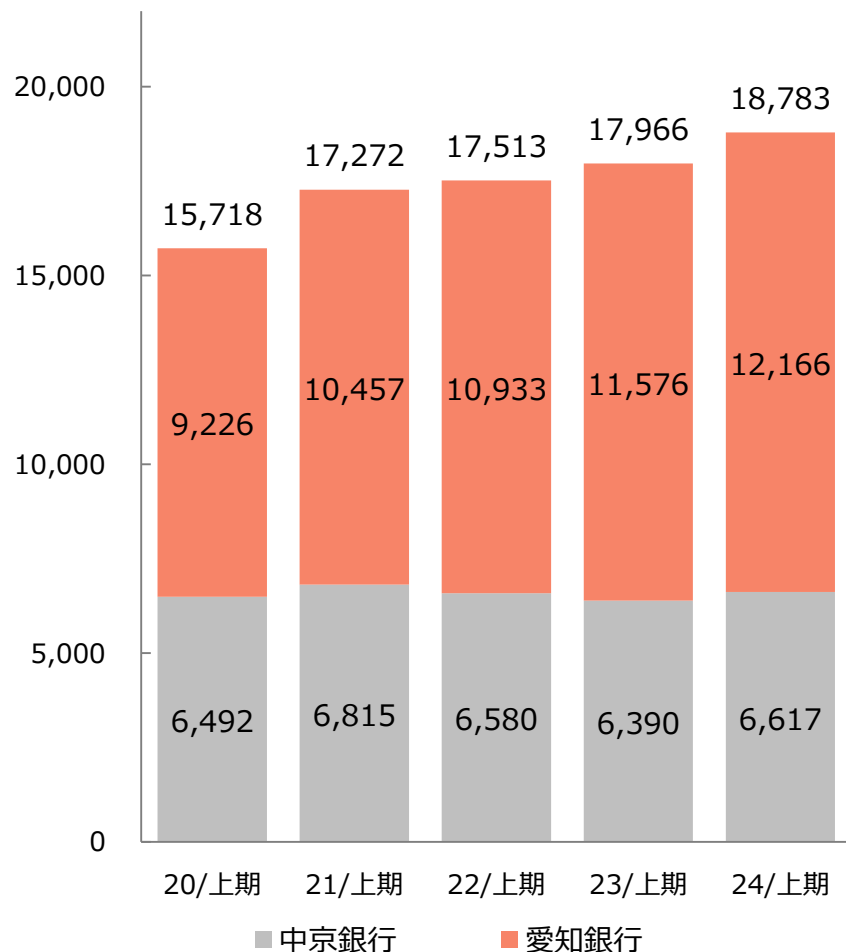
貸出金利息の状況

- 2行とも貸出金利回りは上昇し、貸出金残高も順調に増加したことから、2行合算の貸出金利息は前年同期比8億円増加の187億円。

2行合算

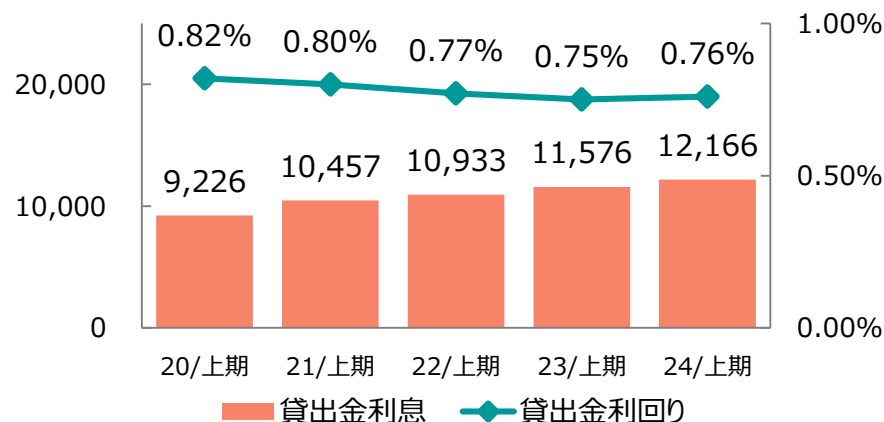
(百万円)

**FG1次中計の2024年度貸出金利息目標
360億円を大きく上回る勢いで推移**



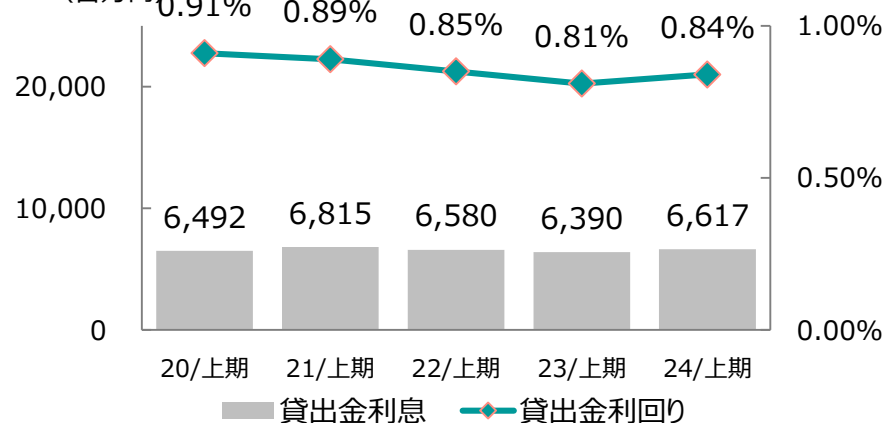
愛知銀行

(百万円)



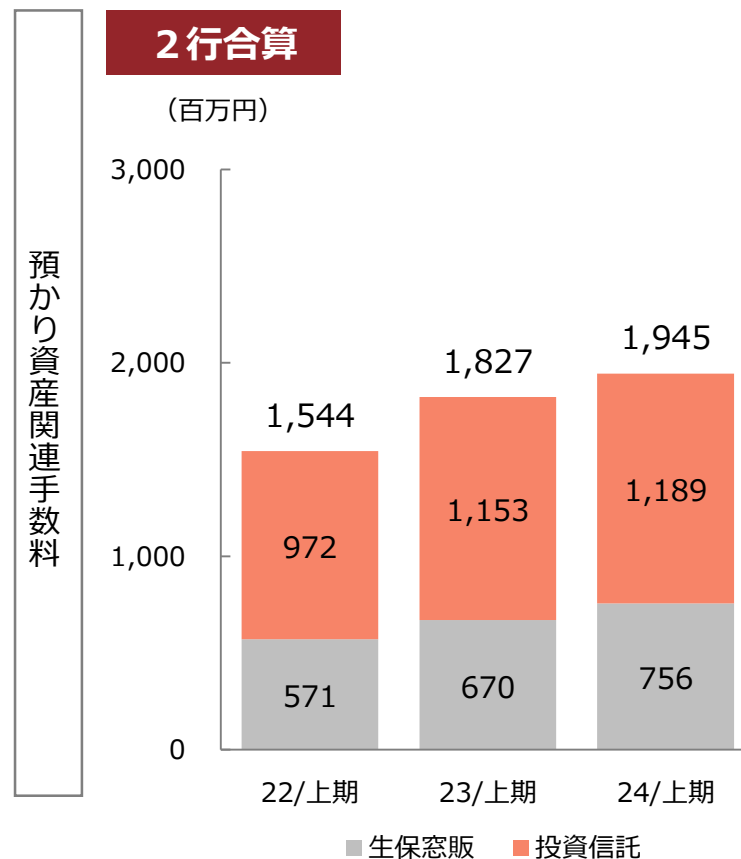
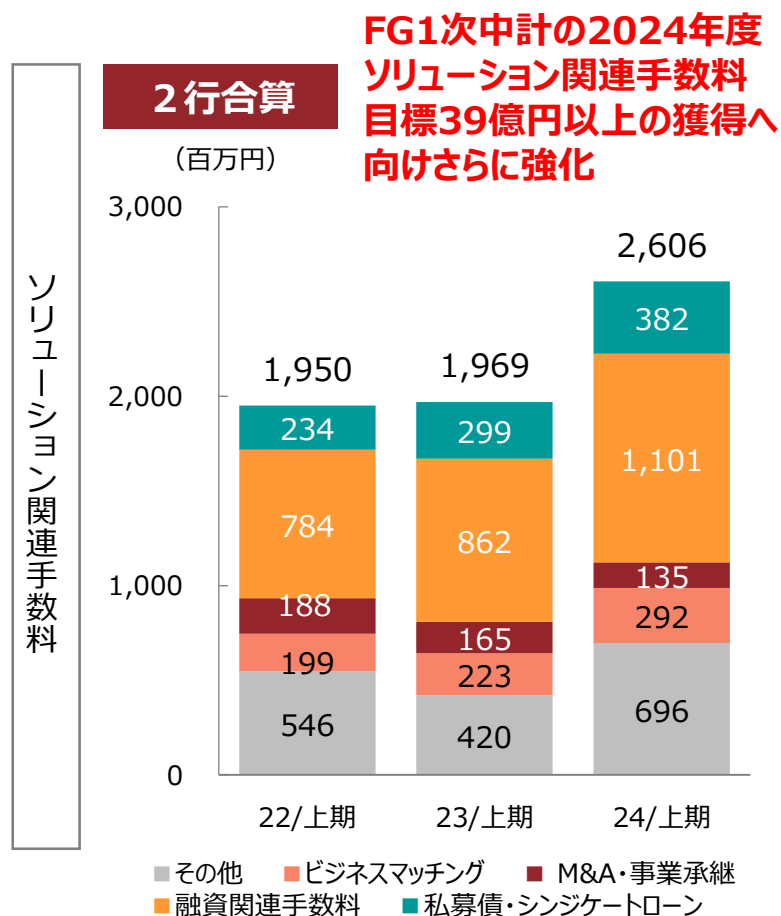
中京銀行

(百万円)



ソリューション・預かり資産関連手数料の状況

- ソリューション関連手数料はシンジケートローンや融資関連手数料、ビジネスマッチング等で増加。
- 預かり資産関連手数料は投信、生保とも増加。



有価証券の状況

- デュレーション短期化等により2行合算の国債等債券損益は4億円改善。
- 株式やその他有価証券等の評価益が拡大し、有価証券評価益は2行合算で921億円と、前年同期比では220億円の増加。

有価証券関係損益

(単位：億円)

	2行合算		愛知銀行		中京銀行	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
1 有価証券利息配当金	88	▲3	66	3	21	▲7
2 投信解約損益	1	▲4	0	▲1	1	▲2
3 有価証券関係損益	5	11	6	9	▲1	2
4 国債等債券損益	▲31	4	▲29	▲2	▲2	7
5 株式等損益	36	6	35	11	1	▲4
6 有価証券関連損益	93	8	73	13	20	▲4

有価証券評価損益

(単位：億円)

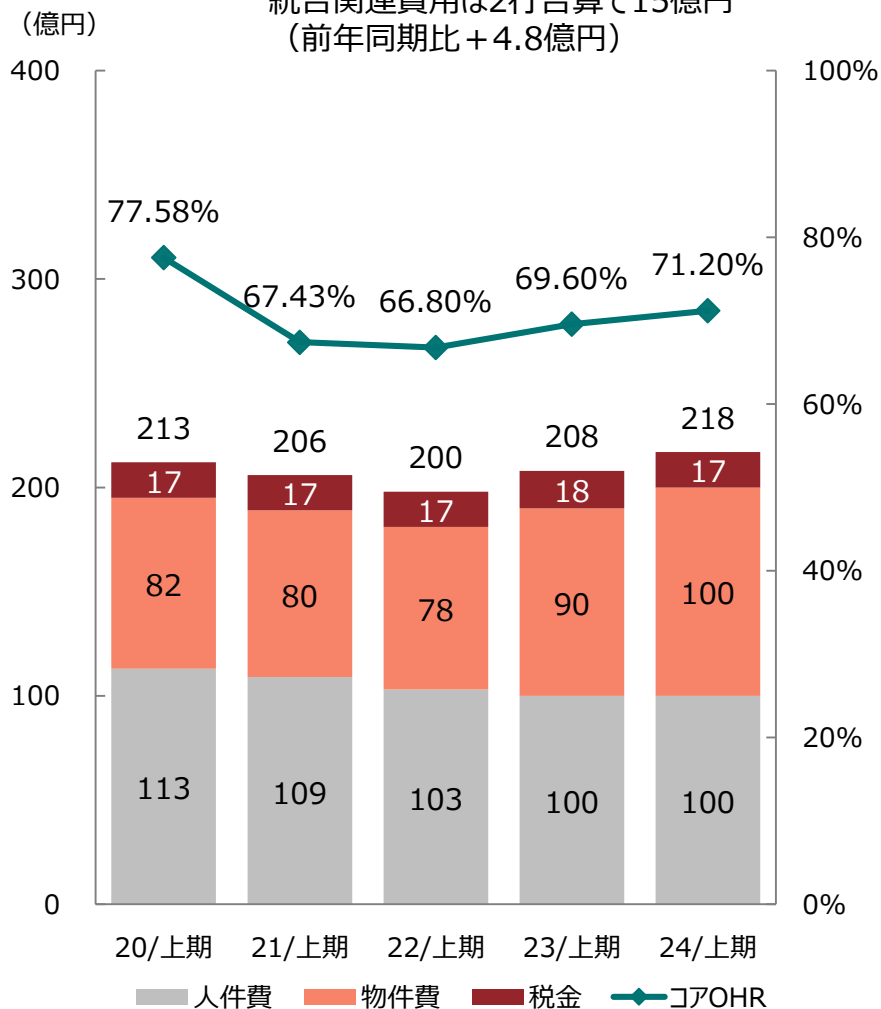
	2行合算		愛知銀行		中京銀行	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
1 有価証券評価損益	921	220	823	176	98	43
2 株式	1,020	107	871	95	149	12
3 債券	▲223	5	▲180	3	▲42	2
4 外国債券・その他	124	107	132	78	▲7	29
5 評価益	1,221	178	1,065	169	156	8
6 評価損	299	▲42	242	▲7	57	▲34

経費の状況

- 2行合算の経費は218億円と前年同期比9億円増加。コアOHRは1.6ポイント上昇。
- 人件費はほぼ横ばい、統合関連費用の計上による物件費の増加が主な要因。

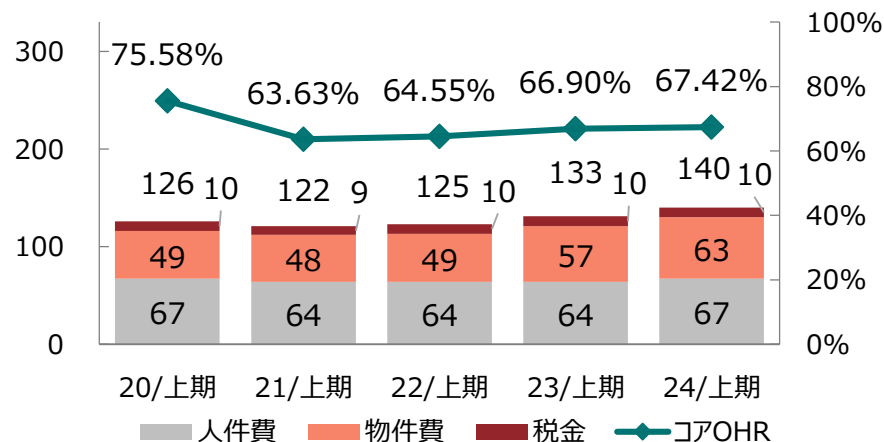
2行合算

24/上期において物件費に含まれる
統合関連費用は2行合算で15億円
(前年同期比+4.8億円)



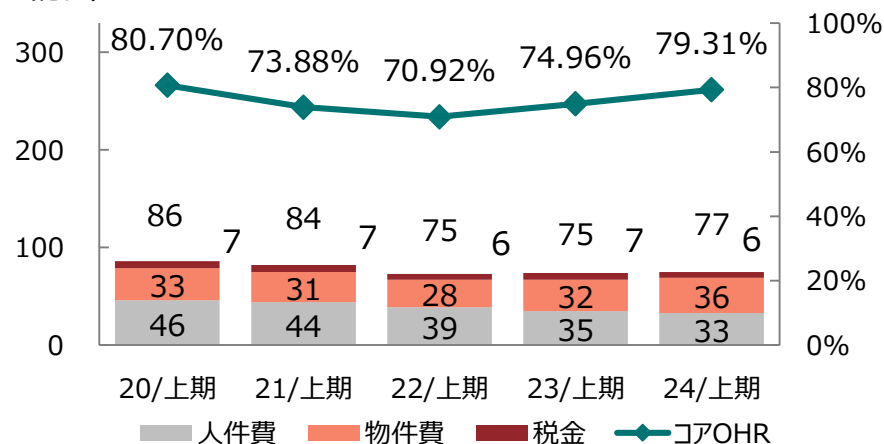
愛知銀行

(億円)



中京銀行

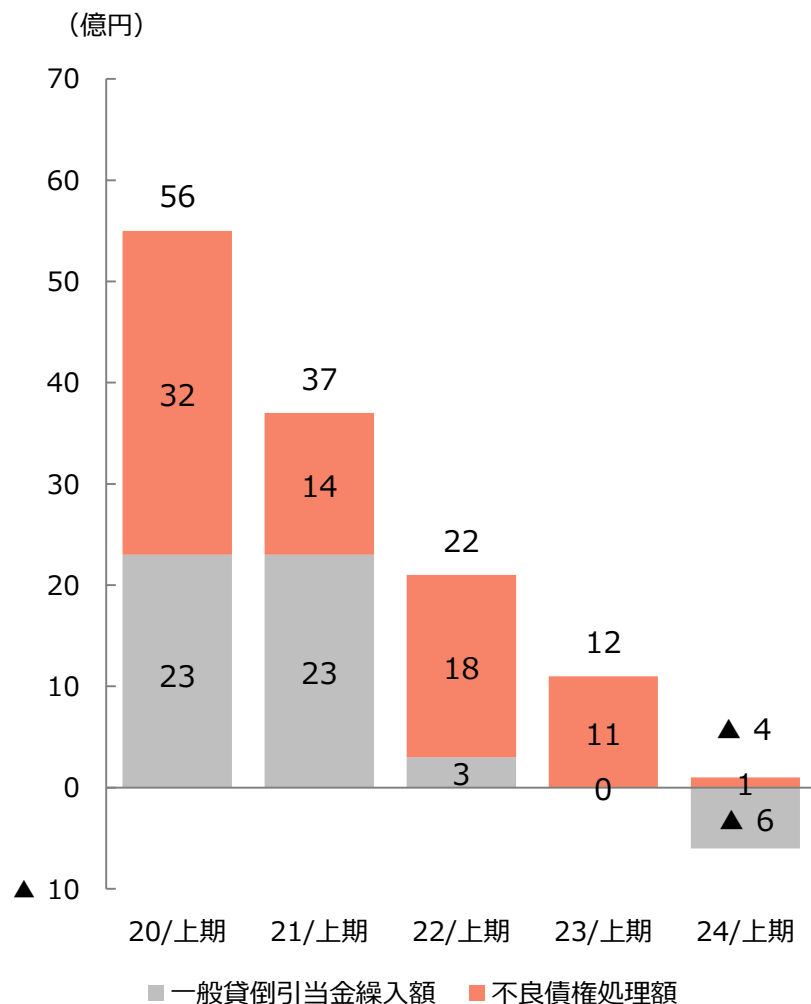
(億円)



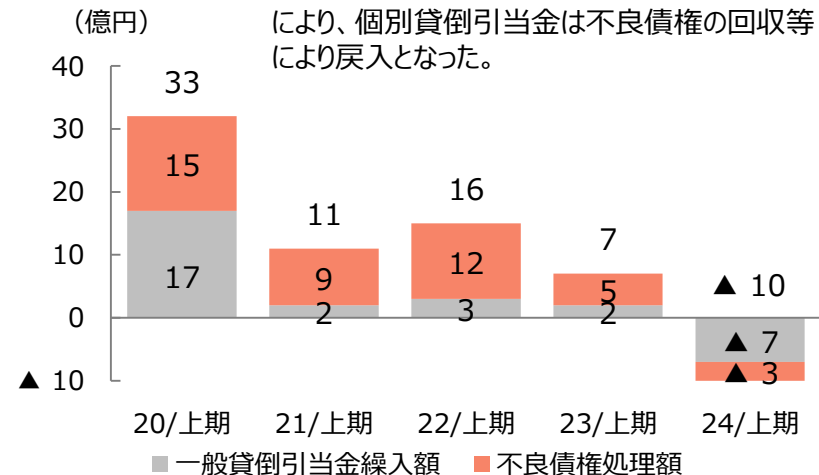
与信コストの状況

- 要注意債権残高の減少や不良債権の回収が進んだこと等により、2行合算の与信関係費用は前年同期比16億円減少し、4億円の戻入となった。

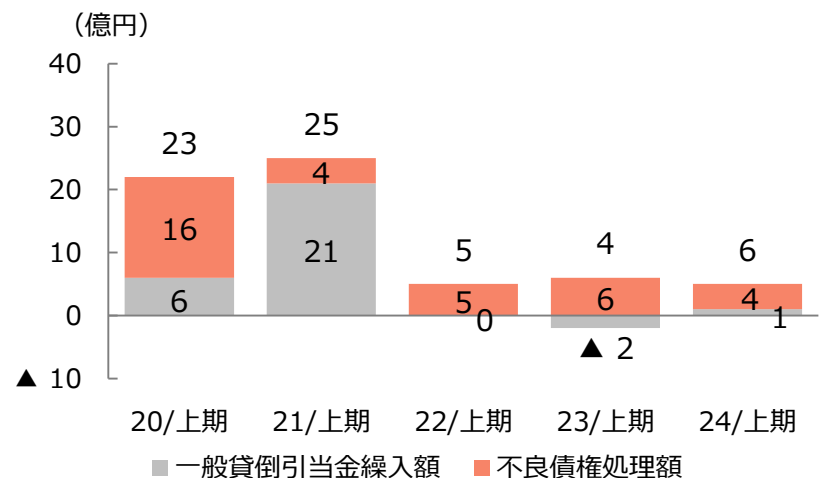
2行合算



愛知銀行



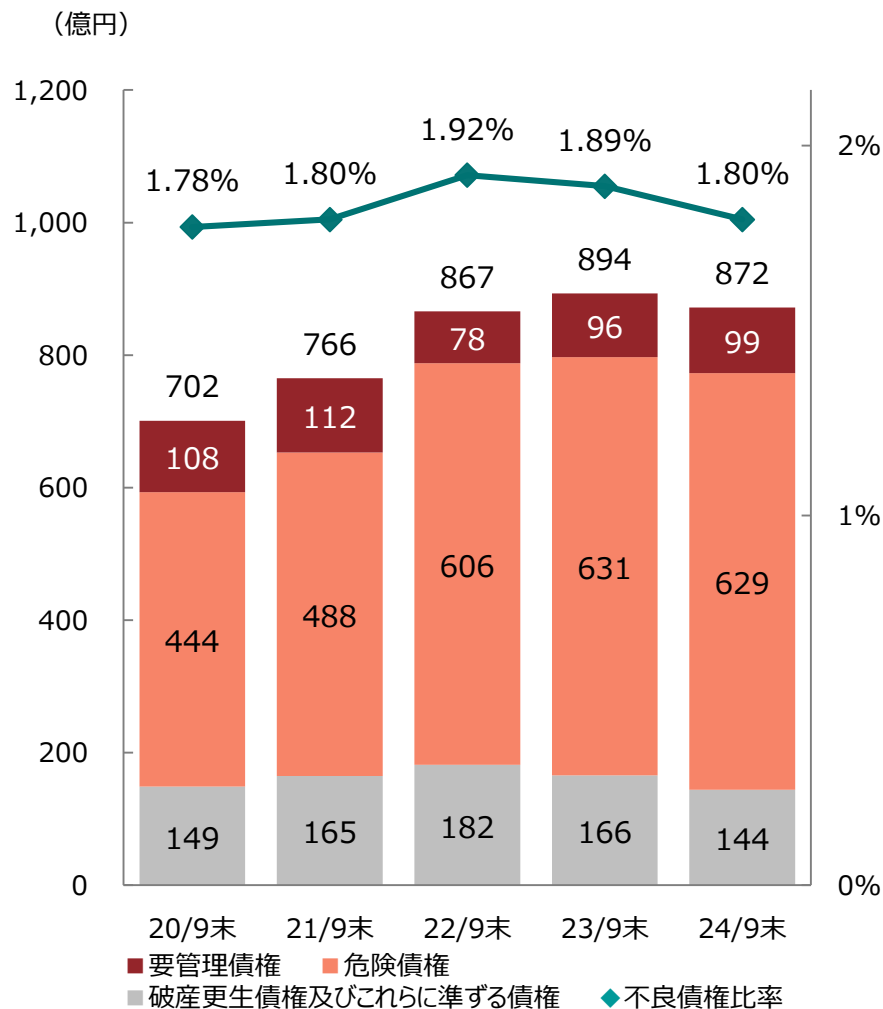
中京銀行



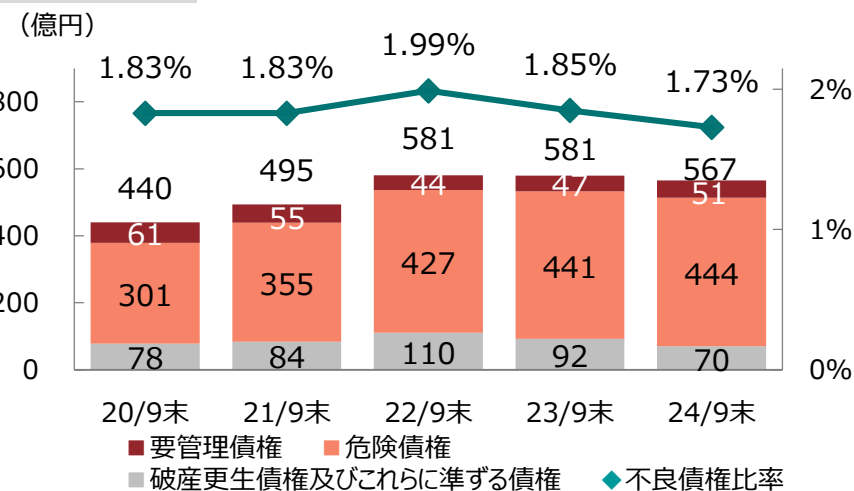
与信管理の状況

- 2行合算で不良債権額は872億円と前年同期比21億円減少、不良債権比率は1.80%と前年同期比0.09ポイント低下し、問題ない水準で推移。

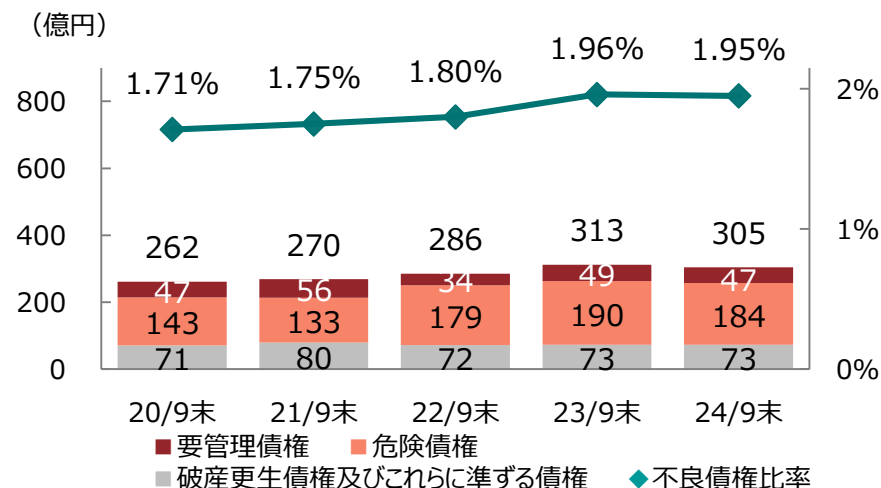
2行合算



愛知銀行

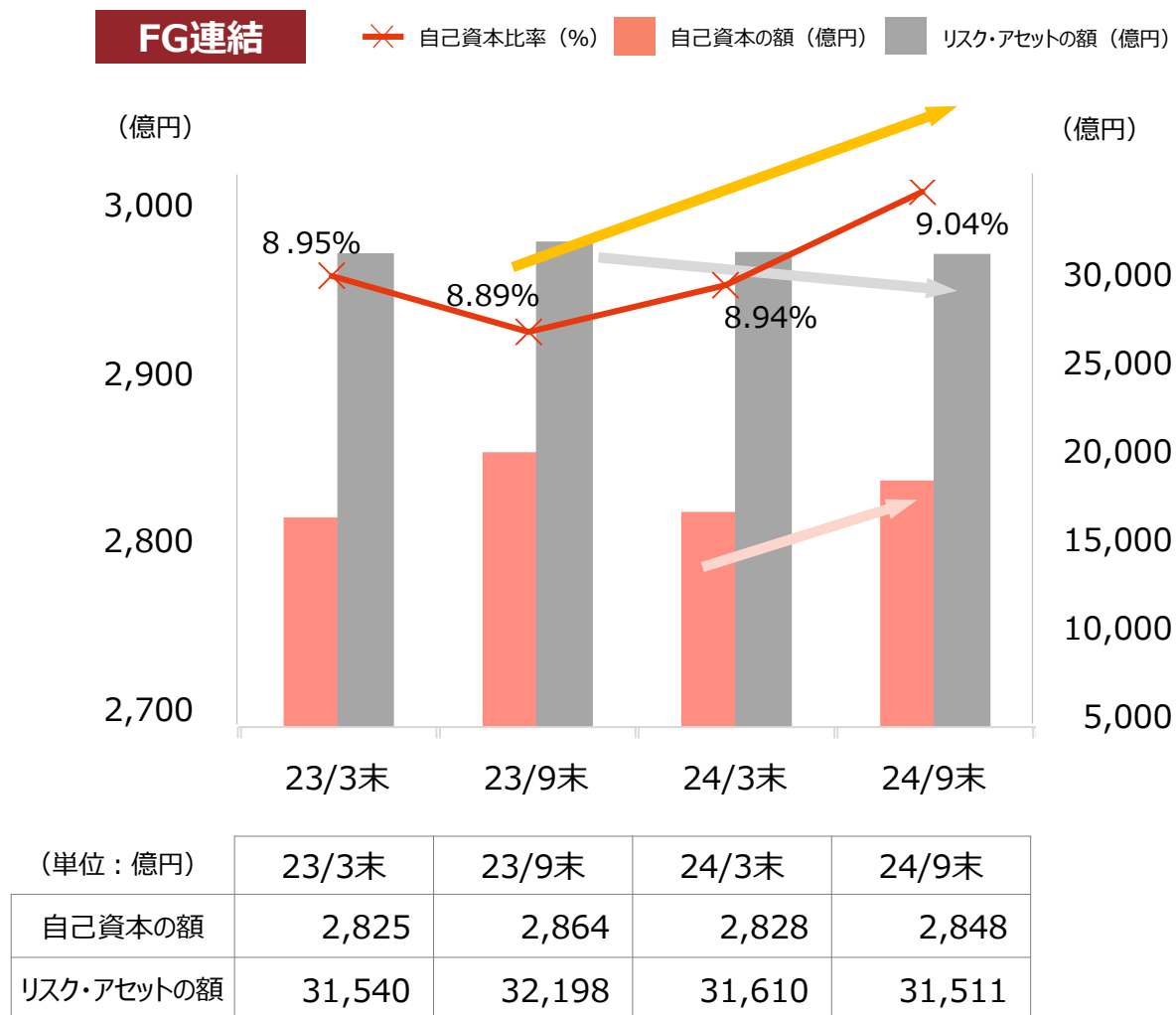


中京銀行



自己資本比率の状況

- FG連結自己資本比率は、利益の蓄積による自己資本の増加、およびRORA向上を意識した取組みによるリスクアセットの減少により、前年同期比0.15ポイント上昇し、9.04%。



業績予想

- 2024年度第2四半期までの業績を踏まえ、2024年度通期予想を上方修正。FGの連結経常利益は92億円（前回発表予想比+47億円、104%の増加）、FGの親会社株主に帰属する当期純利益は51億円（前回発表予想比+41億円、410%の増加）を見込む。
- 2025年1月に予定している銀行合併・システム統合を控え、今年度下期が統合関連費用のピークとなり、2024年度の統合関連費用は110億円程度の見込み。
- 統合関連費用は銀行合併に伴う一時的な要因であり、2025年度は大きく減少し、合併後早期のトップライン／コストシナジーの発揮により利益上昇を見込む。

FG連結

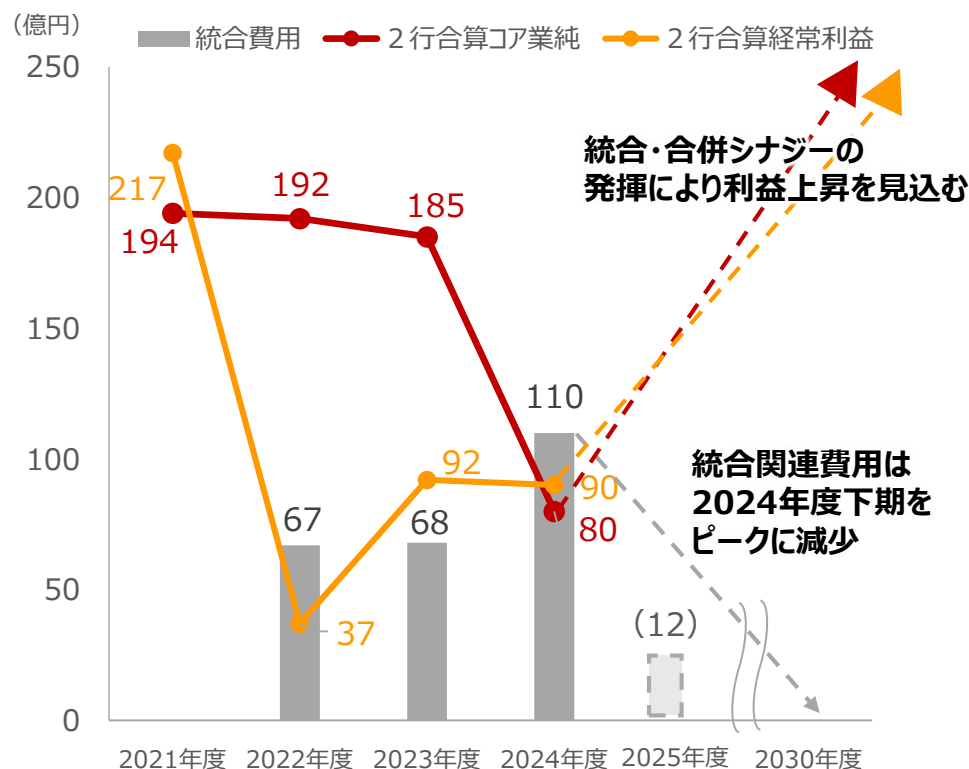
(単位：億円)

	2023年度 実績	2024年度 当初予想	2024年度 修正予想	当初 予想比	2023年度 実績比
1 経常利益	125	45	92	+47	▲33
2 親会社株主に帰属する 当期純利益	82	10	51	+41	▲31

2行合算

(単位：億円)

	2023年度 実績	2024年度 当初予想	2024年度 修正予想	当初 予想比	2023年度 実績比
1 コア業務純益	185	78	80	+2	▲105
2 経常利益	92	32	90	+58	▲2
3 当期純利益	64	0	50	+49	▲14



※FG第2次中計（2025年度～2027年度の3年間）で統合関連費用は合計25億円程度（2025年度は12億円程度）を見込む。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意ください。

<お問合せ先>

株式会社あいちフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL : 052-262-6512

FAX : 052-262-6517

URL : <https://www.aichi-fg.co.jp/>